常盤の翠

志・寛・錬

発 行
令和5年2月17日
鹿児島市立伊敷中学校

本物の体験が人を育てる

校長　河瀬　雅之

ニュートンという科学雑誌が、創刊５００号を迎えた。大学時代に発行された創刊号から購入を続けている思い入れの深い雑誌である。その時々のホットな科学の話題を素人にもわかりやすくイラストや写真を中心に解説してあるため、生徒に科学への関心を持ってもらおうと理科の授業でもしばしば活用した。

本号はこれまでの５００号を振り返る構成になっていたため、そこに記載された５００種の表紙をたどるだけでも、その時代時代の科学技術や最新の理論の移り変わりを捉えることができる。読み進めていくうちに、理科教諭時代の記憶とも重なり、**自然科学の世界を熱く生徒に語り続けていた当時の思いがこみ上げてきた。**

冊子の中程に「読者が選ぶベストオブニュートン」という企画があった。そこには懐かしい顔が掲載されていた。創刊号から長く本誌の編集長を務められた、地球物理学者の故竹内均博士の写真である。その写真からも懐かしい記憶が蘇ってきた。

それは１９９０年代初めの頃であったと思う。県文化センター（現宝山ホール）で開催された、竹内先生の対談企画に参加したときの記憶である。その対談相手は何と**アポロ11号でアームストロング船長と共に人類で初めて月面に降り立った、NASAのバズ・オルドリン宇宙飛行士であった。**一時間半余りの対談は英語主体で進められたが、竹内先生の解説が適宜加えられるため、ほとんどの内容を理解することができた。

その対談の中で、オルドリン氏は、沢山の写真を用いながら、宇宙飛行士になるまでの経緯、宇宙・月での経験を熱く語られた。**どれも生の体験に基づく話しで魅力的であったが、その中でも「夢をあきらめるな」の一言は今も強く心に残っている。**

その当時勤めていた中学校の科学同好会の生徒数名を引き連れ参加した会であったが、**しばらくは興奮が冷めず、本物に触れることの意味を身をもって感じた体験であった。**

さて、最近入試対策で、推薦を受ける生徒の面接の練習に立ち会う機会があった。推薦を希望するだけあり、志望の動機がはっきりしており、皆、受け答えもしっかりしていたが、面接では「何と答えたか」よりも、「何を経験してきたか」の方が心に迫ってくる。**生の体験や自分で考え行動したことは、自然とその人の人柄そのものとなり、多くの言葉を語らなくても伝わってくるものだと感じた。**

オルドリン宇宙飛行士は対談の中で「月に行く前と後とでは人生が変わった。」と述べていた。私達の通常の体験と月着陸の体験とは比べようもないかもしれない。しかし**人は多かれ少なかれ、体験を通して成長していくものだと思う。**それは成功体験だけではなく、失敗体験でもよい、むしろ**失敗の中から得るものの方が大きいかもしれない。中学生の皆さんには、様々な体験を自ら求め経験し、大いに失敗もしながら、それを乗りこえ、大きく成長してほしいと思う。**

1年ソシオドラマ

２月14日の全校朝会では、１年生各クラスの総務・副総務によるソシオドラマが披露されました。現在学年が抱えている課題として、「箸忘れがどうして減らないのか？」という問いからたり前にしていくことの必要さ」を訴えていました。あと２か月もすると、先輩たちが披露したソシオドラマを今度は自分たちが演じることで、伊敷中の伝統をしっかりと受け継いでいるのだと実感させられたこと１年生に限らず、学校全体としていきたいと思いました。

2年職場体験学習

１月26、27日の２日間で、職場体験学習が実施されました。大雪のため、例年より１日少ない学習となりましたが、２年生はこれまで準備してきたことを生かして、２日間でたくさんの学びを得た様子でした。ある生徒に話を聞いたところ、「私は、どうして働くのかという問いを立てて体験学習に臨みました。最初、働くことはお金を稼ぐためだけにしているイメージがあったけど、実際に働いてみて、お客様の笑顔が見られたときに喜びがありました。」と話してくれました。体験学習前に自ら立てた問いを解決することができて、より深い学びにつながったのだと思います。

3年志成の日

２月16日に、中学校生活最後となる「志成の日」が行われました。これは、各学級の総務・副総務が、年度当初に学級で決めた目標について、最終的にどのくらいの達成度になったのか、そして、その結果から卒業までにどのように改善していくかを提案する時間となります。私が話を聞いて驚いたのは、３年間で、これほどまでに内容が高まるのかということです。この活動は１年生からずっと続けています。分析や発表の様子、どれをとっても、さすが３年生。学ぶことがたくさんありました。そんな３年生とどうぞ残りの時間を大切に過ごせるのも、１か月を切りました。

祝！春の祭典！！

１月２１日に、春の祭典が宝山ホールにて実施されました。１学期の合唱コンクールで最優秀賞に輝いた２年４組が、本校の代表として出場し、見事金賞を受賞しました。これまで昼休みや放課後を使って練習を重ねてきた４組のみなさん、おめでとうございます。創作の部では、３年生の佐伯姫鞠さん始め３名が受賞しました。おめでとうございます！

受賞結果

○団体の部　２年４組 金賞
○創作の部　佐伯姫鞠さん(優秀賞)／
　平井春菜さん・鶴田彩乃さん(優良賞)

プレ全国学力・学習状況調査

２月１４日に、２年生で英語の「話すこと」の調査に向けての予行練習を行いました。この調査ではパソコンを使用するため、今回はその使用や調査方法に慣れることを目的として実施しました。全国でこの予行練習に取り組むことが義務付けられています。これまでは、一斉の形態で「話す力」を測ることが難しかったのですが、今は一人一台端末があります。そのため、今後は英語の「話すこと」にも力を入れた調査やテストが増えていくことが予想されます。練習に臨んだ生徒の中には、「日頃の授業で行っている英語でのやり取りや発表が役に立ちました。」と答えてくれた生徒がいました。世界には多種多様な人がいます。そんな人たちとコミュニケーションを図る手段の一つが英語です。話す力を今後も伸ばしていきましょう。

3月 主な行事予定

２日（木）～３日（金）
　公立高校入試／１・２年実力ﾃｽﾄ
８日（水）　３年クラスマッチ
　※年間行事予定から変更
９日（木）　２年読み聞かせ
１０日（金）　卒業式予行
１３日（月）　卒業式準備
１４日（火）　第76回 卒業式
１６日（木）　１年クラスマッチ
１７日（金）　２年クラスマッチ
２４日（金）　修了式・辞任式
　※年間行事予定から変更
２９日（水）　新入生学用品販売

※　新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する可能性があります。変更の際は，その都度連絡します。